



勉強会には村職員や生産組合の農家の方が参加し、県の担当者から種子生産における注意点などの指導を受けました



## あぶくもち栽培勉強会を開催 本格栽培に向け活動をスタート

昨年、11年ぶりに復活した、村の新たな特産品として期待される「あぶくもち」の栽培に向け、県とJA飯館営農センターによる栽培勉強会が4月28日に開催されました。昨年12月に設立された「飯館村あぶくもち生産組合」が福島県と種苗許諾契約を締結したことから、「あぶくもち」の種子生産を行うことが可能となりました。また、5月12日には、前田地区の約60アールの水田で田植えを行いました。今年生産される種子により、来年から本格栽培が行われる予定です。



村長室にて杉岡村長から委嘱状が交付されました。村の顔である広報づくりにご尽力いただきます

## 飯館村で初の試み 村民広報委員が決定しました

5月19日、村民広報委員の委嘱状交付式が行われました。記念すべき1人目の村民広報委員となったのは、熱い思いをもって応募して下さった渡邊富士男さん(飯樋町)。さっそくこの日から、広報委員会へご参加いただきました。

村民広報委員は、役場職員だけでは目の行き届かない部分をはじめとし、幅広い情報収集にご協力いただきます。村内外で暮らす飯館村民の皆様へ、より多くの情報・現状をお届けするため、よりよい広報づくりにともに励みます。



臨床実習では、入居者と実際に触れ合うことで理解を深め、個々に応じた関わり方なども学んでいました

## 福島県立医科大学×飯館村 学生の村内実習がスタート

「いいいてホーム」で、福島県立医科大学保健科学部の実習が始まりました。村は同大学と2月に包括連携協定を締結。村民の健康福祉に関する取り組みを進めながら、医療人材の育成に協力します。初回の5月18日には、学生6人が「いいいてホーム」で実習。副施設長の佐藤智恵子さんから震災時の様子や質の高いケアへのこだわりなど、施設のあり方を聞き、同行した先生方の指導の下、臨床実習を行いました。今年度はサロンでのレクリエーション実習を含め、計14回の村内実習が予定されています。

## 熱気あふれるステージを満喫 白崎映美&東北6県ろ〜るショー!!

自主文化事業『白崎映美&東北6県ろ〜るショー!!コンサート』が、5月7日、交流センター「ふれ愛館」で開かれました。同コンサートの村内開催は4年3か月ぶり。村内外から80人余りが来場し、ステージでは、白崎さんが上々颯風(シャンシャン台風)時代に歌ったジブリ映画のテーマソング「いつでも誰かが」など15曲が披露されました。代表曲「まづろわぬ民」は、福島高校Jazz研究部の約30人も加わった熱気あふれる演奏となり、聴衆が総立ちで大きな拍手を送っていました。



1時間半にわたるステージを満喫!盛り上がる観客席



## しみじみマスタープロジェクト 第1弾が本格始動しました

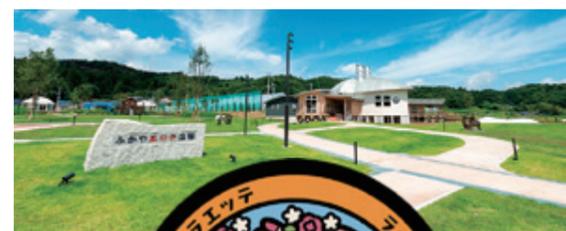
5月6日、「いいいて希望の里学園」で『しみじみマスタープロジェクト』がスタートしました。このプロジェクトは、村の第6次総合振興計画に盛り込まれているもので、村の郷土料理や食文化について素材の栽培から調理までの過程を体験することを目指します。この日は、「飯館村食を考える会」が作った、ずんだ、エゴマ、きなこの3種類の凍み餅を試食。しっかりと味わった児童達は「家族と作ってみたいと思った」「凍み餅を作る大変さが分かった」など、関心を深めていました。



前期課程の児童が3種類の凍み餅を味わいながら、凍み餅の歴史や作り方について学びました

## ふかや風の子広場に 飯館村の『ポケふた』が登場!

『ポケふた』とは、ポケモンがデザインされたマンホールのふたで、県と連携協定を結ぶ(株)ポケモンが、県内市町村にそれぞれオリジナルデザインで世界に一つだけの『ポケふた』を贈っています。「ふかや風の子広場」に設置された飯館村の『ポケふた』は、「ふくしま応援ポケモン」のラッキーと、花の世話をするポケモンのフラエツテが描かれています。ここにしかない『ポケふた』に、ぜひ会いに来てくださいね。



© 2022 Pokémon. © 1995-2022 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.  
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。